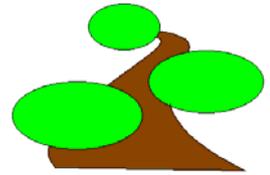


会報 のしろ黒松

平成17年
2月16日
第9号



発行 能代バイパス黒松友の会 事務局

関係機関団体の皆様に感謝

田村 清

此の度平成16年度秋の叙勲で思いもよらない『旭日小綬章』の受章内定しましたから11月9日財務省に来る様日程を取って下さい』との電話で『「旭日小綬章」は大変立派な賞です。おめでとう御座いました。』との事でしたので、私の様な者が其の様な立派な賞を受けるのは何かの間違ひではないかと思ひ、問いただしたところ『秋田県の納税貯蓄組合連合会長の田村さんですね。』とのことで私も大変びっくり致しました。後日正式な通知を送りますから宜しくとの事でした。其の後通知がはいり、私がモーニング、家内和服で財務省で受賞式をし、皇居で天皇陛下の拝謁をうけ、お言葉を戴き記念撮影して帰るとのことで大変な栄誉である事に感激致しました。これも納貯連の功績だけではなく私の関係する各機関団体の皆様のお力添えがあったればこそその受賞であり、私を仲間として受け入れて下さった黒松友の会の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

H16年11月3日 北羽新報1面

旭日小綬章
田村 清氏(74) 能代市落合字落合22、県納税貯蓄組合連合会長・納税功勞



文部省認定通信教育東京農業大農業科修了。昭和26年に落合第一納税貯蓄組合の事務局長として納税貯蓄にかかわり、46年に同組合組合長となり、62年に市納税貯蓄組

政府は「文化の日」の3日付で秋の叙勲受章者を発表した。本県関係者は67人。能代市では能代市の県納税貯蓄組合連合会長・田村清氏(74)が納税功勞で旭日小綬章、二ツ井町の元中学校長・豊沢幸夫氏(73)が教育功勞で瑞宝双光章、能代市の元保育所長・池端信枝氏(75)が児童福祉功勞で、同市の元消防団分団長・佐藤宏氏(74)が消防功勞でそれぞれ瑞宝単光章を受章する。(喜びの声8面に)

合連合会、能代山本地区納税貯蓄組合連合会の会長に就任。平成6年に県納税貯蓄組合連合会副会長、12年6月から同会長(全国納税貯蓄組合連合会理事)。

能代山本から4人 秋の叙勲

納税功勞 田村氏(能代)に旭日小綬章

爽やか街道

斎藤 清宏

一般国道7号能代バイパスは、いまでは大型店の進出等と相俟って人、車の大動脈となっているが、更に、ここ数年歩道の拡幅整備など、見違えるように改善されてきていることは本当に喜ばしいことと思う。

また、一方においてこの道を一層引き立たせてくれているのが豊祥袋交差点を起点とした臨海方面に延びる黒松並木である。黒松はその落ち着いた雰囲気と重厚さで庭園にはなくてはならない木と云われているが、この「市の木」の映える道作りはこの街にとって相性であり能代市を一層特徴づけるものとなっている。

街路樹の松を眺め歩くとどれとも同じものはない。背丈、枝の張り、あるいは横になびいているものなど姿かたちは異なるがそれがまた個性があり、それぞれ趣があって面白い。

云えることは人が手を加え、大事に^{はぐく}育ててきた松にはやはり自然木と違った風格が備わっていて見る目を優しく包み、その緑のコントラストが道の行き来を楽しくさせてくれることである。

私は松の剪定を含めてその育成技術についてはまったくの素人、しかしそれが昨年ある機会を得て入会することになり、参加一年生として歩み始めたばかりですが、今後、仲間の指導を受けながら基本的な技術を身につけ、私なりに少しでも役立てればと思っております。

関係者皆様のご健勝を祈念申し上げます。



北海の旅

中村 英雄

7月の連休を利用して家族で北海道旅行に行くことにした。

秋田港から朝7時に新日本海フェリーで出港、苫小牧東港に午後5時ごろ着岸し、日高自動車道から道央自動車道、札幌自動車道と乗り継ぎ、小樽市内の夜景を見ながらホテルに到着、少し休息後市内の散策に出かける。

小樽運河まで来て見てびっくり。大勢の観光客が運河廻りの散策を楽しんでいる。

この辺一体の街灯に灯りが入って夜景もいっそう幻想的な雰囲気皆んな酔いしれている様子だ。

この運河は南側650mの山側半分が埋め立てで御影石を敷きつめ、今の小樽運河散策路にしているとのことでした。

また、小樽は歴史的な建物が数多く残されており見どころがいっぱいある。

今回は時間が取れないので次の機会にする。

2日目ホテルを出発、小樽市内を徒歩で散策しながらおみやげを買い、その後札幌自動車道、道央自動車道と進み滝川ICで一般道に下りる。

上川郡美瑛町に向かって車を走らせ美瑛の丘が一望に出来る駐車場に到着。

観光バスや乗用車で一杯になっていたがどうにか駐車出来ほっとした。

作物の種類によって色とりどりのパッチワーク模様のゆるやかな丘が果てしなく続くヨーロッパ的な風景に感動しながら、しばしの時間を過ごした。

次に向かったのは北海道でも人気のある中富良野のラベンダーファーム富田に行く。到着は午後5時近くになった。

ここは一方通行でバスと一般車両は別の駐車場で誘導員が多数付いていて整理、誘導してくれていた。

ファーム富田のラベンダー畑は斜面を利用した畑で色々な草花が有り、今はラベンダーが満開だ。斜面のバックには十勝連峰、大雪連峰を望むことが出来る。

園内は広大な面積でその敷地内にはラベンダーを使ったオリジナルメニューのある喫茶店（ポプリの舎）、おみやげを販売する（香水の舎）、その他製造工場、温室など数多くあり、育てて、加工、販売と一貫した作業工程の流れを感じラベンダー園を後にした。旅行中は天候に恵まれてなによりだった。

一路宿泊予定の帯広に向かって車を走らせホテル到着は午後8時40分、荷物を室に置いて市内に出て食事する。

3日目朝ホテル出発、途中帯広市内でおみやげを買い夕張に向かう。

夕張はかつて道内一番の炭坑の町として発展した所だが、今は当時の坑口及び立坑が一部残っているがさみしい町に感じた。

夕張を特徴づけているのは道内に10種類以上のブランドが流通しているが、知名度ナンバー1は夕張キングメロンの様です。

昭和36年に夕張市が独自に開発した品種で、種は現在でも門外不出、厳しい品質チェックに合格したメロンだけが夕張メロン、という称号を与えられるそうです。

道内限定、夕張メロン味のお菓子、ソフトクリーム、チョコレートなど数多くある。

辛党の私もソフトクリームを食べてメロンの味をかみしめた。夕張を後に苫小牧に向かう。午後6時ごろフェリー埠頭に到着。すでに車がいっぱい来ている。

まもなく乗船開始午後7時30分出港。船中では息子達の気配りで個室の特等であつたため他人に気遣いすることなくシャワーを使いゆったりした気持ちで過ごすことが出来た。又、孫を抱っこして甲板に出て果てしない水平線をながめてしばしの幸せを満喫した北海の旅でした。



新春スポーツはユニカール!!



ファッ ファール
してるつもりじ

審議だ! 2対0?
どうだ?どうだ!?



1月18日(火)、能代・山本スポーツリゾートセンターに於いて、室内スポーツ「ユニカール」を17名の皆さんで奮闘して来ました!

3人一組で青組・黄組に分かれ、プレーを開始。狙いはセンターサークルど真ん中だったり、相手チームにぶつけられる事を予測して、手前のセーフティーエリアへ投げたり…力が有り余ってしまった人(筆者)はカーペット外へ…

転がっていったりなどの珍プレー好プレーが続出しました。終始、熱気と笑いにつつまれ、抱腹絶倒!! あっという間に時間が過ぎていきました。体育館内には暖かな日の光が差し込み、新春スポーツにぴったりの爽やかな汗を流すことが出来たのではないのでしょうか。



スウィング大將は誰?



ユニカールとは
ユニカールは一九七九年にスウェーデンで生まれました。
名称の由来は「ユニバーサル・カーリング」にあり、「皆が手軽に出来るカーリング」という意図が込められている。
カーリング自体は一九九二年の冬季オリンピックから採用されている氷上スポーツで、その陸上版がユニカールである。



私の宝物

浅田 嘉美

J R 東能代駅、1 番ホームに「バスケの街のしろ」と記載されている看板は、第 2 回能代カップ高校選抜バスケットボールを大会直前の平成元年 4 月 2 4 日私が P R を目的に設置しました。

このボードの両面にリングを取付け、其の上にボールを結んでいます。このボールは前年行われた第 1 回大会の時に使用した試合球で、各チームの選手が互いに優勝を目指して手にした「たっぷり」汗の滲んだ記念すべきボールです。

看板のクロ（待合室側）に、其の事を記しています。電車を利用する機会があったらご覧下さい。このボールが私の宝物です。



側面部分

リング上のボールは、第 1 回能代カップ高校選抜バスケットボール大会昭和 63 年 5 月の試合球、参加各選手の友情の汗ににじんだ青春の想い出深いボールです。

新 年 た ん ぽ 会



ユニカールの余韻もさめやらぬ 1 月 1 8 日（火）午後から、国民年金保養センターのしろにて、1 8 名の参加でたんぽ会を開催しました。川村会長挨拶のあと、戸嶋出張所長の乾杯の音頭で和やかに会が始まりました。

会員のみなさんで「たんぽ」をつつきながら、今年の豊富などを語り、手元のグラスも大いに賑わいでいるようでした。また、スポーツ、温泉、宴を通して、参加されたみなさんの親睦はさらに深まり、心身ともに潤ったたんぽ会となりました。

—工藤昭男氏作—
～ガラス絵～



酉年にちなんで



たんぽ会にお持ち頂いた工藤昭男さんのガラス絵はこの他 3 点 3 / 1 5（火）の総会にも展示されますのでご覧下さい。

新会員紹介
新たに 3 人の女性会員を迎えました。

住所	能代市
氏名	畠山 ヨシ子
住所	能代市
氏名	秋穂 シガ子
住所	能代市
氏名	金谷 正子

黒松の里親になって戴くようよろしく
お願いします。

編集後記

● 先日の幹事会に出席された役員におかれましては、平日の開催にもかかわらず、長時間にわたりましたご参加頂き本当にご苦勞様でした。

■ 新会長、新副会長の選出と新幹事を加え新陣容となり、また、女性会員が 3 人入会されるなど大変嬉しく喜ばしい限りです。

■ 新年を迎え黒松友の会も、抱腹絶倒のユニカール、たんぽ会を開催する事が出来、会員同士の絆がより深まるなど活動の飛躍に期待が持てるところです。

● 先日のたんぽ会で一緒に頂いた渡辺です。みなさまと初めてのお会いできてとても嬉しかったです!!

● 普段は黒松会報の送付や電話連絡など、事務局補佐をしておりますが、たんぽ会ではカメラマンをさせて頂きました。そして今回初めて会報づくりにも参加させて頂きました。

● みなさま、とても明るく楽しい方たちばかりでしたので、みなさまに育てられた黒松の明日は明るい!! と気持ちも軽やかに、当日はとても爽快な一日を過ごすことができました。

〒016-0121
能代市鹹淵字家の下19
能代国道維持出張所内
0185-58-2919

事務局 深渡 義哲
事務局補佐 渡辺 公子

2005年2月15日

Volunteer Support Program